



新宿西戸山中学校地域協働学校 第1回 協議会だより

地域協働学校では月に1回程度、運営協議会を開催しています。以下は、今年度第1回会議の概要です。

- 日 時 平成31年4月23日(火) 16時00分～17時20分
- 場 所 新宿区立新宿西戸山中学校 1階 会議室
- 出席者 ※敬称略、順不同
新藤久典、浅井春夫、芹澤直樹、伊藤容子、新田怜弥、佐藤浩、多久知明、田中健夫、市村光雄、美濃部芳和、菊田史子、天野真寿、朴勝高、山中麻子、太田幸司(報告)
※過半の出席があるため成立
- 配布資料
「次第」「平成31年度新宿西戸山中学校 学校経営方針」および「概要版」「5つの重点的取組」等
- 議 事
 1. 校長挨拶
 2. 委員(運営協議会メンバー)紹介
新藤久典(元西戸山中学校・元新宿西戸中学校長)、浅井春夫(百人町3丁目町会長)、芹澤直樹(柏木育成会)、伊藤容子(戸塚育成会)、新田怜弥(戸塚第三小学校スクールコーディネーター)、美濃部芳和(スクールコーディネーター)、佐藤浩(校長)、多久知明(副校長)、田中健夫(教務主幹)、市村光雄(生活指導主幹)、菊田史子(前PTA会長)、天野真寿(PTA会長)、朴勝高(PTA)、山中麻子(PTA)
 3. 今年度地域協働学校の運営と組織について
代表に新藤委員、副代表に芹澤委員が選出された。
 4. 学校経営方針の説明と承認
 - ・佐藤委員から本年度の学校経営方針について説明があった。概要は下記のとおり。
今年度は以下の5つを経営方針の柱として重点的に取り組んでいく。
①主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業及び指導法の研究開発 ②いつでも運動できる環境整備 ③不登校生徒「0」を達成する校内体制の確立 ④地域協働学校の運営の充実 ⑤「学校における働き方改革」の目的達成に向けた取組の確実な実施
 - ・不登校に対する本校の取組についての説明(太田教諭より。概要は下記)を受け、活発な意見交換が行われた。
不登校の生徒の状況や背景はひとりひとり異なる。教室には行けないが学校には来られるという生徒も数名おり、これまでは担任と擁護で協力し、保健室登校という形をとってきた。しかしスタッフが足りず手が回らないという現状があり、組織だって対策を講じる必要性を痛感してきた。
そこで、今年度はサポートチームを設置すると共に、新たな試みとして、不登校生徒の居場所「和室」を開設する。居場所を作ることで引きこもりを防ぎ、社会とのつながりを維持するのが目的。生徒を無理矢理、学校に戻すのではなく、それぞれに合ったカリキュラムを組んで、段階的に不登校の解消を目指す。すでに一部生徒を対象にプレで実施しており、連休明けから本格的に運営を開始する予定である。

地域協働学校運営協議会 第2回会議
6月18日(火)16時～ 本校会議室にて